

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2024
No.477



7&8

次回9月号は9月9日からの配付です

ふつくら香ばしい
静岡産
うなぎ蒲焼

今月の産地・
メーカー
静岡うなぎ
漁業協同組合

特集
あなたの声を聞かせて
「総代」ってなあに？



MOGMOG レシピ

ひと手間かけてパリッと香ばしく!
「うなぎ蒲焼」

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

産直の東都生協

ふっくら香ばしい

静岡産うなぎ蒲焼

今月の産地・メーカー 静岡うなぎ漁業協同組合

うなぎの言葉は、

夏の風物詩。

土用「丑の日」に

うなぎやうなぎ重は

いかがですか。



生産性や効率よりも おいしさを重視

「東都静岡産うなぎ蒲焼」は、生産性や効率よりもうなぎ一尾を、よりおいしい状態でお届けすることを考え、専門店と同じさばき方で下処理をしています。

活きたうなぎをそのままさばくには、専門店の職人と同等の技術が必要です。水で仮死状態にして動けないようにしてからさばく方法もありますが、その場合はうなぎの体内に残って時



うなぎは活鰻からさばきます



蒲焼ライン

間が経った血液が十分に抜け切らず、蒲焼にした後も臭みなどが残りやすくなります。

活鰻からさばいたうなぎをまず「白焼き」にし、通常よりも強く焼き込みます。しっかりと焼くことでうなぎの臭みが取れ、わずかに身に残った血液が旨みに変わり、小骨も焼き切れて食べやすくなります。

強く焼けば焼くほど水分が失われて身が縮み、歩留まりは悪くなりますが、ここでも効率よりも味を重視しています。

次の蒸し工程で関東で好まれるふっくらとした食感になります。その後、「東都産丸大豆しゅうゆ」を使用したオリジナルのたれで「たれ付け」と「焼き」

静岡県のうなぎ養殖の始まりは百年以上前？

静岡県内でうなぎの養殖が始まったのは1900年（明治33年）とされており、百年以上の歴史があります。

うなぎの養殖に一番大事とされているのはやはり「水」です。東都生協指定の同組合の生産者は、農家が「土づくり」をするように、養殖池の底面に土や砂利を敷き、その後地下水を入れて浄化バクテリアを発生させ、池の「水づくり」から始めます。これは二ホンウナギが本来生息している環境により近づけ、ストレスフリーの環境で育てるためです。餌をよく食べて元気に育つので結果的に高品質なうなぎを生産できるのです。



静岡うなぎ漁業協同組合

日々の餌やりと
体調管理が必須

養殖池は大人が立てるほどの深さです。生産者が直接池に入り、うなぎと直接触れ合いながら健康管理を行っています。うなぎも人と同じ生きものなので、いつ、どのような病気になってしまったのか分かりません。常にうなぎの体調管理は欠かさず、愛情を込めて育てています。

これまでうなぎの養殖技術で培ってきたノウハウを生かし、最適とされる30℃前後の水温で管理しています。餌は早朝と夕方毎日与えます。最初は生き餌などを主に与えていますが、成長段階で魚粉を主とする配合飼料に切り替えていきます。

稚魚の仕入れ、養殖から
加工まで一括管理

稚魚であるシラスウナギは、同組合が国内外から仕入れたものを東都生協指定の生産者に販売し、成鰻に育ったところで活鰻として仕入れる形をとっています。シラスウナギから活鰻、加工品まで組合での一貫管理となっています。

うなぎの出荷サイズの基準は200g〜300g程度ですが、シラスウナギの池入れから出荷までの期間は約6〜8カ月で、成長率の違いにより大きさに個体差が出ます。そのため、養殖池に接続されているポンプで選別所まで吸い上げ、専用の道具で選別してからサイズごとに池へ振り分け、これを出荷までに数回行います。

を各3回繰り返すことで香ばしい蒲焼に仕上げます。

シラスウナギの不漁が続く、高値で流通されている中で、追い打ちをかけるように物価高が続く、養殖にかかるコストが年々上昇しています。

そんな中でも、静岡うなぎ漁業協同組合は、今ある資源を大切に使い、おいしさはもろること、安心して食べ続けられるうなぎ蒲焼の生産を続け、東都生協のプライベートブランド商品「東都静岡産うなぎ蒲焼」を出荷しています。



代表理事組合長 薬科昌利さん

浸場の流水で一日さらして身を引き締めます

MOGMOGレシピ 2分 調理時間 (湯せん時間除く)

「うなぎ蒲焼」をひと手間かけてパリッと香ばしく！ (湯せん時間除く)



うなぎの皮目を焼くことで、よりパリッと香ばしさが広がります。お好みで木の芽を添えたり、山椒の粉をかけてどうぞ。

材料(2人分)
東都静岡産うなぎ蒲焼…2パック

作り方

1 うなぎ蒲焼は袋のまま湯せんして温める。

2 袋からうなぎを出し、クッキングシートを敷いたフライパンまたはオーブントースターでうなぎの皮目を1〜2分焼く。

資源回復の 取り組み

同 組合では、浜松市の行政や漁協などが連携して行っている浜名湖発親うなぎ放流事業への資金を支援し、実施日には放流に参加しています。この事業は、浜名湖で成長し、やがて産卵場所といわれるマリアナ海嶺に向かう銀化した親うなぎを買い上げ、沖で放流する事業です。また、独自でも、天然のうなぎが棲みやすい環境を作るために、近隣の河川のごみやヘド口を除去するなどの清掃活動を行っています。



親うなぎの放流

「総代」ってなあに？ あなたの声を聞かせて

東都生協は組合員の声で運営されているって、ご存知でしたか？「こんな商品があったらいいな〜」「このサービス、もっとこうならいいのにな〜」という組合員を集めて運営方針を決める「総代会」が年に1回開催されているんです。もっとあなたにフィットする東都生協へ！あなたの声を反映させるための仕組みと総代の役割を紹介します。

総代会議ってどんな感じ？

会議の前に送られてくる資料「総代通信」を基に事業や活動が方針に沿って進められているかどうかを確認し、思いや意見を出し合う場です。



総代会議全体質疑の様子

●全体会ではちょっと言えない…というあなたも〜少人数で話しやすい分散会
全体質疑の後、4〜6人くらいの総代と役員、地域コーディネーターなどが同席して分散会で意見交換。組合員理事の進行で、総代同士自己紹介をしてリラックスしてから、1時間程度、疑問や意見を役員がじっくり聞いて説明します。会場で初対面でも、同じ商品を購入しているという共通点から話が弾み、総代同士、情報交換で盛り上がることもしばしばです。



総代と役員との距離がググッと近づく分散会

●会場出席が難しい場合は？

- ・オンラインで自宅から出席することもできます。
- ・ホームページから動画を視聴したり「総代通信」を読んで、意見(声カード)を送ることができます(希望する総代にはDVDも送られます)。



オンライン開催



⚠ 東都生協の組合員なら誰でも総代に立候補できます(2024年7月20日以前に在籍していることが条件)。特別な知識や経験がなくてもOKです。ただし、組合員本人以外(同居の家族など)は総代にはなれません。

総代でなくても声を出せるの？



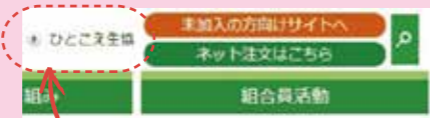
●ひとこえ生協

商品などについて声(意見)を紙に書いて注文書と一緒に提出する「ひとこえ生協」の仕組みがあります。ホームページ右上のひとこえ生協からも投稿できます。(https://www.tohto-coop.or.jp/hitokoe/)



「ひとこえ生協」は、商品案内「Sanbonsugi」毎月4回 p.2に掲載されています

組合員なら誰でもOK！
声を出せる仕組みがあるよ



😊 ホームページからはここをクリック！

●わたしの声カード(アンケート)

6月の通常総代会に向けた「私たちの東都生協(第1次議案書)」が2月上旬に全組合員に配付されます。わたしの声カード(アンケート)に記入して3月上旬の締め切りまでに注文書と一緒に提出、またはインターネットのフォームでも入力・送信できます。次回はあなたの声をぜひ届けてください。お待ちしております。



特典はあるの？

1

総代優先の産地・交流訪問企画があります

大人気の産地・交流訪問も総代が優先的に参加できる企画があります。「Tohto Fan Meeting」第2弾は、6月15日にJAやさと・朝日里山学校(茨城県石岡市)を訪問し、生産者との交流と収穫体験、ピザとじゃがバター作り体験を行いました。



収穫体験

2

総代優先の商品学習会に参加できます

魅力的な総代活動にするとともに、多くの組合員に総代を知ってもらう機会として「Tohto Fan Meeting」を開催しています。2023年度は「知って納得!わたしのこだわり(東都生協プライベートブランド)オンライン学習&おしゃべり広場」として総代優先の商品学習会を開催。「東都玉締めしぼり胡麻油」と総代オリエンテーション試食品「東都米酢」のこだわり製法を東都生協商品部職員が講師となって解説。後半はグループに分かれて総代と総代でない組合員の参加者でおしゃべり交流会をしました。



東都玉締めしぼり胡麻油

東都米酢

3

2023年度の試食品



東都みそ

東都ストレートつゆ

東都国産小麦使用ホットケーキミックス

わたしのこだわり

試食品についてアンケートを提出します

総代オリエンテーション、第1回〜第3回総代会議の開催前に計4回、試食品が供給時に配付されます。試食品の資料を読み、動画によるメーカー担当者のメッセージを視聴。アンケートを提出します。

4

毎月届く
組合員活動情報誌
「Yui」、広報物、
ホームページ
などに目を通します



総代会って？

組合員の代表として「総代」が出席し、東都生協の基本方針を決定する最高決議機関です。議決権は出資金額に関わらず1人1票です。「総代」は年に3回の総代会議に出席し、事業と活動について声を出します。



なんだか楽しそう!

総代の年間活動スケジュール

どうやって総代になるの？

現在、各地域委員会主催の企画時や地域版「ワオ」でご案内をしています。8月12日から配付の左記選挙公示で選挙区を確認し、事務局に「立候補用紙」の請求をすることもできます。

8月中旬 「総代選挙公示」発行

9月上旬 立候補用紙提出締め切り

10月上旬、総代確定 「総代当選公示」発行

10〜11月 「総代のでびき」配付

●総代オリエンテーション

9つの地域ごとに、または、9つの地域を3組に分けて総代の年間スケジュール、役割の説明を受けます。

総代同士の交流や担当理事、地域委員会メンバーとつながります。

11月下旬 第1回総代会議

「総代通信」No.2 配付

今年度の活動の中間報告と次年度の方針作成(第1次議案書作成)のため、組合員としての思いや意見を出し合います。

2月に「私たちの東都生協(第1次議案書)」を全組合員に配付

「総代通信」No.3 (第2次議案書) 配付

3月下旬 第2回総代会議

第2次議案書を基に次年度方針作成に向けて質問や意見を出し合います。

4月に「私たちの願い」として「私たちの東都生協(第1次議案書)」の「わたしの声カード」に寄せられた声を全組合員に配付

「総代通信」No.4 配付

6月上旬 第3回総代会議

通常総代会への提案議案の内容説明と議案に対する質疑応答の機会。さらに通常総代会に向けた各種手続きの説明を受けます。

「通常総代会議案書」配付

「総代通信」No.5 配付

6月中旬 通常総代会

「総代通信」No.6 配付

9月末ごろ 任期終了

※2023年度のスケジュールです。2024年度は若干変更する場合があります

誰もが安心して暮らせる社会のために /

未来につなぐ募金

東都生協では、誰もが健康で安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指す活動(団体)を応援、助成を行っています。組合員一人ひとりの思いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の商品に換えて応援する仕組みです。毎号、助成団体を紹介しています。



コンテナの中身

団体名 NPOさくら彩

設立 2020年10月 ボランティアの受け入れ あり
 代表者 石川 正美さん 広報ツール ホームページ、SNS、チラシ、足立区広報紙
 活動拠点 足立区北東エリア
 活動内容 フードパントリー、おやこ食堂、宅配弁当配布、オレンジサロン
 メンバー 地域住民(民生委員、児童委員、町会委員)、教育関係者、地域包括センター関係者

助成団体紹介 Vol. 12

地域密着！世代を超えてお互いに思いやり 助け合いながら生活する社会へ

未来につなぐ募金の助成を受けているパントリー事業は毎月第4火曜日午後4時～6時に足立区佐野の用水さくら通り沿いの奉優の家1階のコミュニティプラザで実施されています。対象はひとり親などの子育て世帯や独居高齢者など。あらかじめ条件をクリアして予約が必要です。

取材当日は、午後4時の開始前から激しい雨の中、配布を待つ人の列ができていて、いかに頼りにされているかを目の当たりにしました。115世帯分のコンテナボックスが並べられ、ボランティアの皆さんがテキパキと物資を配分していました。コンテナは属性により色が分けられ、さらに家族構成を書いたシールが貼られ、配布数・内容が調整されています。

配布が始まると、スタッフが調子を聞いたりして会話をしながら品物を渡していきます。当日取りに来られない方のために見守りを兼ねて、物資のデリバリーも行っているとのことでした。それぞれの家庭の事情を分かっているというのも大きな安心感になっていると感じました。

また「自立のための支援になるように」との思いから、地域の他の団体と横の連携を密にして、マッチングにつなげることもあるそうです。今夏に運営が始まる足立センターでの「居場所づくりプロジェクト」に参加し、組合員や子ども支援団体と共に東都生協の取り組みとなる活動に協働しています。「こちらのサポートで助かりました」「がんばれました」と書かれた感謝のお手紙の掲示もあり、地域を元気にしていこうという活動の成果が伝わりました。



団体名 NPO法人カモミール

設立 2021年5月 メンバー 理事6人、監事1人、ボランティア約40人
 代表者 田中 貴子さん ボランティアの受け入れ あり
 活動拠点 小平市 広報ツール Facebook、TOKYO854くらめら(コミュニティFM)、
 活動内容 移動式子ども食堂 市内に貼られているポスター
 (第1・3水曜日)、フードパントリー

助成団体紹介 Vol. 13

栄養バランスと完全手作りにこだわった移動式子ども食堂

代表の田中貴子さんは23年間学校給食の調理師を務めてきた経験から、100～150食分のお弁当とデザートを完全手作りで、平均15人のボランティアスタッフと3時間弱で手際よく作成します。田中さんが退職後の2021年から、「移動式子ども食堂」を始めたのは、学校給食の現場で感じた「子どもの貧困」がコロナ禍によって急増している危機感から。調理する会場とは別に必要とする人に食事を提供する会場を移動して、毎月第1・第3水曜日に開催しています。調理ボランティアのミーティングでは、衛生管理研修と同時に献立のアイデアを出し合い、メンバーの自主性を尊重しながら調理を楽しむことで持続可能な活動を目指しています。

外出をためらうような春の嵐の中、小平市の都営アパート集会所前には、親子連れをはじめとするおよそ30組がお弁当を受け取りに並んで待っていました。連絡先記入用紙を配布しながら、ちょっとした世間話から健康状態や暮らしぶりを気遣います。

カモミールの花言葉は「逆境で生まれる力」。物価高が家計を直撃する中で、孤食になりがちな子どもたちへ忙しい保護者に代わって栄養バランスを考えた家庭的な食事を届けることで、人と人、地域をつないでいます。



卒業シーズンに赤飯、厚揚げのステーキ、コーンのかき揚げ、小松菜と春雨のポン酢和え、いちごの桜餅。



ヘアキャップ、マスク、手袋着用で、食中毒や異物混入を防止

第50回 通常総代会

6月13日、ハイアットリージェンシー東京(新宿)にて
 第50回通常総代会が開催されました。

7&8月号特集 ～「総代」ってなあに？

(採決結果速報はP11インフォメーションにて)

議長団



議事進行をする議長団



総代総数542人中180人の総代が会場に出席しました

発言者



持続可能な組織づくり、
 気候変動対策、
 組合員活動への参加などについて
 発言をする総代



総代からの意見・思いについて説明する
 野地専務理事

総代インタビュー

- 1 総代になりませんかと声を掛けられて、最初に思ったことは？
- 2 総代に立候補してみようと思った理由は？
- 3 総代をやってみて良かったことはありますか？



牛乳の美味しさは
 東都生協と酪農家の
 歴史を知って納得しました

interview

総代歴4年 平井 雅子さん(清瀬市)

- 1 5年前供給センターの方から「総代やりませんか」と言われて、「他にどうしてもいなければ…」ということで、1回は断りました。生協の仕組みをよく理解していない私に務まるのだろうか…。
- 2 翌年もう一度お声を掛けていただき「これはもう断れない」と思い、お引き受けしました。
- 3 八千代牛乳の美味しさに惹かれて加入したのですが、資料をひたすら読んで、東都生協の成り立ちの歴史を知り、なるほどな～と納得しました。転居が多く、いろいろな生協を利用してきましたが、メーカーとの関わりでできた商品、生産者とのつながりを大事にしていることが分かって、市販のものや他生協との違い、東都生協のこだわりをより深く知ることができました。組合員同士のおしゃべりからいろいろ気づくことが多いのも東都生協の魅力ですね。

- 1 加入年数も短く、総代の役割さえ把握できていない私に務まるのだろうかと不安でした。
- 2 声を掛けてくれた職員の方の厚意に答えたい思いと、元々食育、添加物、日本の農業に興味を持っており総代の役割を通じて、さらに学びを深め、お役に立ちたいと思ったからです。
- 3 総代オリエンテーションに出席した際、他の総代の皆さんの目的意識が高く刺激を受け、また学びも多く大変有意義に感じました。試食品アンケートでは、生産者の思い、取り組み、工夫を知る機会となって商品の見方も変化し、「食」について考える機会となっています。総代を通じ、改めて食や日本の農業、自給率を考える機会が多く、引き受けて良かったと感じています。

interview

2 食と農を考える機会と なっています

2023年度 新総代 戸川 恵さん(横浜市)



生協ならではの組合員の声を反映する仕組みと総代の役割について理解が深まったでしょうか。仕事や家庭のことなどで忙しくても、総代が組合員の代表として、総代会議案にしろの願いを反映させられること、出席方法もいろいろあること

をご紹介します。あなたのつぶやきはみんなの願いかも。総代立候補の呼び掛けは既に始まっています。「総代になりませんか」と声を掛けられたら…ぜひ、前向きにご検討いただけるとうれしいです。



今 月の産地・メーカーじっくり読みました。「東都ストレートつゆ」が良心的に作られているのがよく分かり、これからは安心して使っていきたいと思いました。
練馬区 あんこ

お してQ&Aが参考になります。どの商品がおいしいのか、生の声は加入したばかりの組合員にとってはありがたいです。
町田市 しろの

食 材の無駄買いをなくし、作り過ぎず、あまらぬように献立を立てています。食育インストラクターの勉強をしようと思っています。
三鷹市 高島 法子

供 給担当との交流が楽しみです。「配達担当者ニュース」に返事を書いて文通のようになっています。そのニュースは大切に保管しています。
足立区 中谷 令子

5 月号のケアラーの特集、良かったです。何かあった時に支えてもらえるシステムは素晴らしいですね。
江戸川区 みーすけ

で きるだけ無農薬の野菜を選び、皮ごと丸ごといただくようにしています。
中野区 れもん

食 品表示の基礎学習会がまた開催される時は参加してみたいです。
目黒区 ばたみ

M OGMOGでは東都生協での取り扱い商品についてより詳しく知れるだけでなく、興味深いトピックがまとめられているため、楽しく拝見しています。
東大和市 りんご



●最近、パスタは水漬けしてから使っています。茹でる際のくっつきもなく、時短&フライパンひとつででき上がるので、光熱費が助かっています。
文京区 ゆき

●ひやむぎの季節ですネ。玉ねぎ、なすの薄切りを塩・こしょうで炒め、「東都ストレートつゆ」でつけ汁でいただきます。とてもおいしいです。
国立市 菊地 律子

●残った乾麺で焼うどんにリメイクするとペロリと食べきってしまうので、たくさん茹でてしまいます。
北区 YA

●夫が私の代わりに麺を茹でた際に、「ふたはしない」と言い忘れてふたをしたときの慌てたことが忘れられません。
東村山市 平松 弘子

●冷凍の野菜ミックスと牡蠣で汁を作り、電子レンジで冷凍うどんを温め、汁をかけていただきます。
世田谷区 打越 敏子

●シンプルに「東都ストレートつゆ」でつけ麺が好きで飽きません。
八王子市 守百香

●子どもの頃、母親とお盆に実家に行くといつも叔母さんがそうめんを茹でてくれてみんなで食べ、とても楽しかったひとときでした。他にもおかずはあったのでしょうかそうめんしか覚えていません。
江戸川区 ニコアニ

●母の日に、私がリクエストした台湾混ぜそばを子どもたちが一生懸命作ってくれました。途中、味が薄いなどのエピソードがあったそうですが、焼き肉のたれでカバー。とてもおいしく仕上がりに、皆で笑顔でいただきました。
八王子市 ぐりーん

●そうめんを10本5cmに切り天ぷらの衣を付けて揚げる。パリパリしておいしい。
所沢市 ころちゃん

●米粉を使った麺料理が好きです。暑い夏でも温かい麺料理を口にするようにしています。
豊島区 とうと

おしえて Q&A

今回は、特集 (P.4~6) と連動して総代からの意見や総代会議で出された質問などを抜粋します。

Q 東都生協の取り組み、特にYouTube「東都生協の商品を生産者目線で紹介する」は、とても良いと思います。東都生協の強みである「産直」をより前面に出し、多くの方に発信するのにYouTubeを使うのは効果的だと思います。今後も産地・メーカーの方とつながる活動を期待しています。

A ネット限定商品の利用普及と連動した動画を作成することで、商品の特徴や良さ、生産者のご苦勞・こだわりが少しでも多くの組合員の目に留まってくれることを願っています。引き続き、組合員の興味・関心を惹く動画作りに努めていきます。

Q 「仲間づくりボランティア」について、全組合員向けにWeb募集&登録が開始されたこと、興味を持った方が気軽に参加できる仕組み作り、とても良い取り組みだと思います。今は登録者が自分で情報を閲覧する形ですが、エリア別にメール配信するなどより積極的な情報発信に期待します。

A 店舗がなく、共同購入事業中心の東都生協は日常的に非組合員に認知していただく場面が少ないので、様々なイベントへの参加ができるよう積極的に取り組んでいきます。

Q 国内農業・酪農の現状を知る学習会にオンラインで参加し、本当に危機感を感じました。こういう機会をしっかり継続してほしいと思います。しかし私の子どもをみても、収入が低く東都生協の商品を利用するのは難しい状況です。

A 他と比べても安価な商品や東都生協でしか手に入らない商品もたくさんあります。若年層の方にも東都生協商品やサービスをご利用いただけるよう案内していきます。



Q 食料自給率を上げることは、近々の課題だと思っている。廃業したとか、廃業しかもう道がないなどの生産者の声を聞くと、政府の無策が浮き彫りになるなあと思いました。東都生協の商品は、スーパーなどに比べると割高な部分もあるが、国内農業を守るためにも消費者が、先を見据えて考えて購入していかないと駄目だと感じた。それは、生協の第一課題の仲間を増やすことに繋がると思った。

A 国産原料を使った商品作りは、生産者がいて成り立ちます。これからも産直産地を支えていくための取り組み案内を強化していきます。一人でも多くの方が輪に加わることが、私たちの食を守ることに繋がります。

Q 日本はネオニコチノイド系の使用農薬が広く普及しているのが実態ですが、それに対して産地との学びの場づくりなど、農薬を使わないための取り組みを教えてください。有機農法で作られた商品は量産が難しいと思うが、ITを駆使し小規模な農家からでも調達できるような仕組みはないのか。

A ネオニコチノイド系農薬については、東都生協と取引をしている産地などで構成する産直生産者団体協議会でも話題に上っており、学習会も2回実施しています。学習会ではネオニコチノイド系から代替農薬へ変えた成果なども共有しています。代替可能なところは既に始めていますが、難しい理由は、代替は登録農薬でなくてはならないため、毒性が強いものが多い有機リン系農薬に変えざるを得ないという点です。使う農薬を吟味しながらやっていくというのが現状の到達点です。また、東都生協は産直を事業と運動の基軸に置いていることから、これまでも小さな農家との取引も進めてきました。これからもネット限定商品などを活用して、小規模農家との取引を進めていきます。

Q 東都生協で扱うインスタントラーメンはスーパーなどで売られているものと比べてどの程度安全ですか。

A 東都生協では、商品案内本誌で扱うインスタントラーメンはトーエー食品株式会社の品ぞろえがメインとなりますが、基本的には国産原料(麺には国産小麦・国産馬鈴薯でんぷん)を使用し、ポストハーベスト農薬の心配がないこと、不要な添加物を極力使用しない仕様としているため、安心してお召し上がりいただけます。



東都しょうゆラーメン

MOGMOG クロスワード

- タテのカギ
- ① 完熟したトマトや唐辛子の色
 - ② 亀の〇〇より年の〇〇
 - ④ 「もうけ」とも言う
 - ⑤ 〇〇〇高跳び、〇〇〇幅跳び
 - ⑦ ⇄アウト
 - ⑧ 怪物を英語で言うと?

A~Dの順に並べてできる言葉は?

A	B	C	D

- ヨコのカギ
- ① 派手な模様の〇〇〇〇シャツ
 - ② 応援で張り上げる
 - ③ 海やプールに持って行くドーナツ?
 - ④ CDなどを発売すること
 - ⑥ 合ったり、そらしたり
 - ⑧ 身も〇〇もない発言



ヒント 納涼

1		5		9
		6	7	
	4			D
2		C	8	
3			A	
	B			

正解者から抽選で、10人に、**図書カードをプレゼント!**

発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

MOGMOG ホームページからも応募できます!
<https://www.tohto-coop.or.jp/mogmog/>

クイズの答え、おたより、写真、イラストなどは、はがきまたはホームページから送ってね。上記アドレスあるいは、右の二次元コードからアクセスしてください。



- クイズの答え
- 住所/氏名(お子さんの場合、年齢または学年)/組合員コード/ペンネーム(希望の方)
 - 「うなぎ」にまつわるエピソードやアレンジレシピを教えてください。
 - 日本の農業を元気にするために行動していることを教えてください。
 - 各記事に関する感想や「MOGMOG」へのご意見、イラスト、写真などもお待ちしております!

※おたよりや個人情報は、「MOGMOG」(インターネット含む)でご紹介する場合がありますが、編集目的以外での使用はいたしません。(おたよりは、リライトして掲載する場合があります) ※おたよりへの個別回答は行っておりません。

締め切りは7月24日(水)の消印まで有効。



★宛て先
〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6
吉崎ビル4階 「MOGMOG」 係

組合員から預かった平和募金を活用し開催します。子どもからおとなまで平和を考える一日に。

第20回 東都生協 平和のつどい 「平和を願い 耳をすましてみよう」



アーサー・ビナードさん
Arthur Binard
詩人。米国ミシガン州生まれ。「さがしています」(童心社)で講談社出版文化賞絵本賞、広島文化賞受賞。

★ステージ企画

- ・東友会事務局長 村田 未知子さん 講演
- ・アーサー・ビナードさん 講演
～ちっちゃいこえが聞こえてくるまで～
紙芝居「ちっちゃい こえ」上演と制作にまつわるお話し

★パネル展示「原爆と人間」

★一般社団法人東友会に贈る膝掛けとピースニットの取り組みの展示 など

チケット

申込締切 8月2日(金) おとな 500円/当日700円 子ども 18歳以下 無料

申込方法 共同購入事業部 組合員活動推進グループ

電話:03(5374)4756 受付:月曜～金曜日(午前9時～午後4時)

※すでに組合員活動情報紙「ウォ」やホームページでご案内しています。定員を超えた場合は、期日前に締め切りとさせていただきます。

日時

8月17日(土)
午後0時30分開場～
4時終了

会場

牛込筆筈区民ホール
(新宿区筆筈町15)
地下鉄大江戸線
「牛込神楽坂駅」より直結

第50回通常総代会を開催、全議案を可決

6月13日、第50回通常総代会をハイアットリージェンシー東京(新宿)で開催、3議案全てが可決しました。

総代会は、決算や予算、事業計画など重要事項を決める最高意思決定機関です。東都生協26万組合員を代表する総代が、昨年11月から総代会議などを経て当日に臨みました。

当日は、総代542人中、書面、代理人による出席を含めて532人が出席。はじめに野地専務理事より2023年度まとめと2024年度の計画などを提案。続いて9人の総代が発言し、理事会が説明。活発な審議の結果、全議案が可決しました。

採決結果

	議案件名	結果
第1号議案	2023年度活動・事業報告承認の件	過半数の賛成により可決
第2号議案	2024年度活動・事業計画承認の件	過半数の賛成により可決
第3号議案	組合員除名の件	2/3以上の賛成により可決

※第1号～2号議案は出席総代の過半数の賛成で、第3号議案は2/3以上の賛成で可決となります

理事会報告(抜粋)

2023年度 第14回定例理事会(2024年5月9日開催)

- 審議事項**
- 第50回通常総代会議案書確認の件(その2)
 - 新座要冷セットセンター廃止に伴う原状回復および固定資産除却の件
- 報告事項**
- 各部署業務報告
 - 「第50回通常総代会議案書より」発行の件
 - 第50回通常総代会の運営に関する件(その2)

2023年度 第15回定例理事会(2024年5月21日開催)

- 審議事項**
- 2023年度決算関係書類等の確定に関する件
 - 第50回通常総代会議案書確認の件(その3)
 - 物流子会社の事業計画変更の件
- 報告事項**
- 2024年4月度決算報告
 - 各部署業務報告
 - 組合員活動委員会報告
 - 商品活動関連報告
 - 2024年度の会計監査人選任に関する件
 - 第50回通常総代会の運営に関する件(その3)
 - 理事懇談会開催の件
 - 常任理事会決議事項報告

<4月の私たち>

2024年4月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	261,148人	[101.8%]
加入	1,643人	[192.4%]
脱退	995人	[137.8%]
総事業高	2,751,146千円	[95.2%]
共同購入事業	2,641,174千円	
弁当配食事業	34,680千円	
生活文化事業	14,089千円	
生活支援事業	4,121千円	
その他事業	57,083千円	
出資金	6,649,684千円	[99.6%]
1人当たりの出資金	25,463円	[97.8%]
1人当たりの利用高	6,049円	[100.6%]

今後の理事会日程(予定)

・9月19日(木)・10月17日(木)

MOGMOGレポート

7&8 2024
月号

01 北里八雲
オーガニック牛の
試食・学習会
2月28日
目黒北ブロック委員会

農業や化学肥料を一切使わない草地で栽培された飼料で飼育・肥育した日本初有機畜産JAS認証を取得した北里八雲オーガニック牛。牧場実習だけでなく、生産から販売、普及までを実践的に関わる北里大学獣医学部附属八雲牧場フィールドサイエンスセンター(北海道二海郡八雲町)小笠原英毅さんを講師に試食学習会を開催しました。

大学の研究による北里八雲オーガニック牛は市場の価格競争では負けてしまうため、先生自身が販売、普及のためこの日も上京し講師を務めてくださり、供給車両への同乗体験やイベントにも積極的に参加していることを知りました。他の国産牛との食べ比べでは「臭みがなく柔らかく、かめばかむほど甘みが出てとてもおいしい!」との声。国産飼料100%、アニマルウェルフェアに配慮した放牧など、こだわりの北里八雲オーガニック牛をこれからもみんなで応援していきたいという意見で一致しました。

牛肉の“におい、を確認する小笠原さん



02 おいしさの
秘密を探る
3月7日
光が丘MLブロック委員会

今日はまだまだ雪深い信濃国へ「東都肉餃子」「東都大きめ豚まん」でおなじみの美勢商事(株)の工場に降り立つと、野本孝典副社長はじめ従業員の皆さんが笑顔で迎えてくれました。概要説明を聞き、その後製造ラインへの見学と続きます。機械がリズムカルな動きを刻む中、やはり重要となってきてのは迅速でいいいな人間の確かな目。一つひとつの工程をベテランの技が支えています。「自分たちで使う野菜は自分たちで作る。不要なものは一切入れない」そんなこだわりがこの小さな商品にぎゅっと詰まっているのです。参加者からは「実際に自分の目で確かめ、こんなすばいものだったと感動した」「今日から餃子を見る目が変わる」「おいしさの秘密が分かった!!」と大満足。

にら畑は一面雪で覆われその姿を見ることはできなかったけれど、雪の下にある大切な命を思い、感謝の気持ちを忘れてはいけぬと実感する一日になりました。



03 地域のつどい&どうなる?
ニホンの水産業?
魚介類の学習会
3月19日
第7地域委員会

前半は魚介類の学習会。商品部の才川美奈子職員より、日本の水産業の現状や東都生協の取り組みを、スライドや動画を使って説明。難しい話ばかりではなく、クイズやお薦め商品のおいしい食べ方など身近な事柄まで聞きました。「枝幸魚つきの森」*の話は目からウロコ! 森を再生して持続可能な漁業を守る取り組みに関心が集まりました。参加者からは「魚つきの森の動画を子どもに見せて啓蒙したい」「水産業のこと、MSC認証(海のEコラベル)のを知ることができ勉強になった」「水産業を守るために食べることで応援したい」との感想がありました。

後半は地域のつどい。参加者のお薦め商品発表からスタートし、新組合員活動スタイルの内容や登録の仕方、第7地域の2023年度報告と今後の予定など盛りだくさんの内容となりました。参加は18人。学びが多く、満足度の高い地域のつどいの開催となりました。

※東都生協、枝幸漁協、北海道漁連の三者が植樹活動などを通して、川や海などの豊かな自然環境を守る活動。



Pick up

国内農業を守り食料自給率向上!

3月19日

「食料・農業・農村基本法改正に伴う意見交換会」～東都生協含む生協6団体主催

詳細はこちら



ロシアのウクライナ侵略が始まった後、小麦の輸入が途絶え、パスタが食べられない店が増えました。日本はひとたび他国と事を構えれば、すぐに食料が滞りかねない現状にあります。そんな問題に密接に関わる意見交換会に臨みました。

「食料や農業政策の憲法」ともされる「食料・農業・農村基本法(以下「基本法」という)」は1999年に制定され、今回25年ぶりに改正されます。3月19日、衆議院第一議員会館にて、その議論に加わる形で、生協6団体による意見交換会が催されました。パルスシステム連合会、生活クラブ連合会、コープ自然派事業連合、生協連合会アイチョイス、グリーンコープ連合会、東都生協の代表が参加。会場とオンライン合わせて約400人の産直関係者が参加する会となりました。



生協6団体が共同で作成した政府への提言は①食料自給率

目標の明示と実現に向けた対策の要請 ②国内農業、生産者を保護するための適正な価格形成 ③環境保全型農業、みどりの食料システム戦略の推進 ④消費者の立場に立った食品安全などに関わる規制と表示、食料安全確保の強化一の4つの柱で構成。提言の一部を説明した風間理事長は、「食料自給率の向上は食料安全保障のために不可欠で、農業の多面的機能や脱炭素化の推進にも必要。具体的な目標を定めた対策と、担い手不足を解消する支援策が急務です」と力強く訴えました。石渡副理事長は消費者の立場から、産直生産者団体協議会・高橋会長は生産者の立場から意見を述べました。

この改正案は、5月29日に参議院本会議で可決、成立しました。基本法改正後に、数値などを盛り込んだ「食料・農業・農村基本計画」が具体化され策定されます。基本法の内容は家庭の台所に直結します。改正された基本法が基本理念に位置付けた「食料の安全保障の確保」が絵に描いた餅になることなく、自給率の数値目標を定め自給率向上を図るよう、組合員として注視していきましょう。



食の未来づくり運動

「東都生協50周年感謝祭 Tohto Week」第2弾に5千人が来場 ～未来へつなく～ これからの食料と農業、くらしを考える

開催 2024年2月27日～3月2日 会場 JA東京南新宿ビル

Tohto Week 第2弾は、第1弾(2023年9月26日～9月30日開催)を超える参加がありました。大盛況だった各会場の様子をお伝えします。

1 F

若手生産者による“おいしいものマーケット”を開催。産地の直売所がやってキター！では生産者8団体が自慢の産直青果を販売。試飲・試食コーナーでは、牛乳・牛肉、バナナ、コーヒーがおいしい香りを漂わせていました。来場者も思わぬ生産者との交流を楽しんでいました。抽選くじや野菜の花当てクイズなど、参加できるお楽しみもありました。



行動目標 1 食料自給率の向上

行動目標 2 日本に元気に農業を

行動目標 3 持続可能な社会に向けて

「1人から地域で食の未来づくり運動を伝え、その輪を広げよう」



シンポジウム

「新時代ぶっちゃけトーク」で若手生産者と消費者が意見交換 ～未来のレジェンドたちが語った！～

パネラーの平均年齢がグッと若いシンポジウム会場。コーディネーターの大倉茂氏(東京農工大学農学研究院講師)と若手生産者・職員4人の本音トークはエネルギーにあふれていました。

写真左から「祖父の味を汚したくない」と畑を継いだ茂木太資氏((農)埼玉産直センター)、「テレビでやってたけど、農業どう?」とのパートナーの一言から始まった渡邊拓海氏(JAやさと有機栽培部会)、「画面越しでなく、産地・交流訪問できっかけを作りたい」と職員という形を選んだ下田響輝氏((農)多古町旬の味産直センター)、「感覚で覚える部分が多いです」と仲間と農業を楽しんでいる加藤達也氏((有)山梨フルーツライン)。等身大で農業と向き合うすがすがしい姿が輝いていました。

3 F

未来ひろば「SDGs交流フェスティバル」



あなたは違いがわかる? 「利きいちご」に挑戦!

テーブルには、お皿に盛られた6種類のいちごがスタンバイ。多くの方が参加しました。旬のあまい匂いに包まれた会場で年齢に関係なく「利きいちご」を楽しみました。



別日には柑橘食べ比べも行いました。



家庭用品見本市

おなじみの家庭用品関連メーカー10社が見本市を開催。衣料や清掃用品・化粧品に加え防災用品などを中心に、商品案内で取り上げられている家庭用品を展示。来場者からは「商品案内で見たことがある!」「今度使ってみよう!」の声が。久しぶりの組合員との交流にメーカーの方も喜んでいました。



防災用品や食品の一部が展示されていました

「みんなで楽しむSDGs 東都生協ラボ ～自由に遊ぼう～」 Tohto Week交流広場“まなびのフェスティバル”

子ども26人を含む106人が参加。工作、ミニゲーム、クイズに挑戦! SDGsに関連する知識を遊びながら学びました。



14 資源の循環 資源の循環を促進する (行動目標14)



4 質の高い教育をみんなに 今年、の干支にちなんで、モールやビーズを使ってドラゴストラップ作り (行動目標4)



13 気候変動に具体的な対策を 15 陸域生態系の保護 どんぐりでつくる森の小さな妖精たち (行動目標13、15)



完成した森の妖精

今月のつばやき

今年もまたあの暑い夏がやってくる…(汗) 体調管理が難しいこの季節、諸説ありますが昔から夏の土用には「う」のつくものを食べる習慣があり、夏バテ防止にもってこいのうなぎが食べられるようになったとか。あの香ばしいたれをまとった柔らかいうなぎはきつと食欲不振を解消してくれることでしょう。今年の土用の丑の日は7月24日と8月5日。さあご家庭でおいしい東都生協のうなぎを召し上がれ!! (Y.K)

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

お問い合わせ

共同購入事業部 組合員活動推進グループ
☎03(5374)4756 月曜～金曜日:午前9時～午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

東都生活協同組合 CO-OP